



# ふれあいの丘 天文館だより



## ★今月の天文情報

### ●冬の星座の探し方

冬は、空が澄んで星が美しく見える季節です。この冬の星座を探す名案内役が『オリオン座』です。『オリオン座』は、リボンの形や蝶の形をした星座で、赤い色の1等星ベテルギウスと、青白い色の1等星リゲル、さらに、その間に3つの2等星が一直線に並んだ「三つ星」が目じるしです。この「三つ星」を結び、右上へ延していくと、『おうし座』の「アルデバラン」や「プレアデス星団(すばる)」が見つかります。反対に、左下に延していくと、『おおいぬ座』の「シリウス」が見つかり、シリウスと「ベテルギウス」を結び、左の方へ正三角形を描いていくと『こいぬ座』の「プロキオン」が見つかります。この3つの1等星を結んでできる正三角形を「冬の大三角」といいます。

次に、「ベテルギウス」を囲むようにして右回りに『おおいぬ座』の「シリウス」、『こいぬ座』の「プロキオン」、『ふたご座』の「ポルクス」、『ぎょしゃ座』の「カペラ」、『おうし座』の「アルデバラン」、『オリオン座』の「リゲル」が見つ



ります。これらの1等星を結んでできる六角形を「冬のダイヤモンド」といい、「冬の大三角」と合わせて、冬の星座を見つけるよい目じるしとなります。

では、しっかり防寒をして、冬の星空探訪に出かけましょう。

### ■問い合わせ

ふれあいの丘天文館 TEL (28) 3 2 5 4  
<http://www.fureai-tenmonkan.jp/>



# ふれあいの丘 自然観察館だより



## ★ミニ企画展「魅せられた小さな虫たちの世界」

自然観察館では、ミニ企画展「魅せられた小さな虫たちの世界」を開催しています。この企画展は普段スポットをあびることが少ないアブ・ハエ・イトトンボ・シジミチョウなど「小さな虫」たちを中心に紹介しています。

特に、全国的にも貴重で珍しい「オオイチモンジ」の黒化型は、ぜひ皆さんに見ていただきたい展示品です。

さらに、現在天然記念物となっている「ゴイシツバメシジミ」・日本で一番小さな「ホリイコシジミ」・ミドリ色がとても美しい「キリシマミドリシジミ」・はねの表と裏が全く違うシジミチョウなど4135頭(チョウを数える単位)を展示しています。

このほか、世界で一番大きなカワトンボや飛ぶ宝石と呼ばれる「モルフオチョウ」も展示しています。

虫たちは、どうしてこのような素晴らしい体のつくりや生態を身につけたのでしょうか？それぞれに意味があるのでしょうか。ぜひ、ご覧いただき、小さな虫たちの「不思議な生態・生命

の輝き」「実物・本物の素晴らしさ」を家族でご覧ください。

《触れるコーナー》の「ニジイロクワガタ」「オオヒラタクワガタ」なども、まだまだ元気でみんなを待っています。



【オオイチモンジチョウ】  
全国的にも珍しい黒化型のチョウ。今回の超目玉！



【オサムシ】  
後ろばねが退化し、飛べない昆虫。すむ地域で、独自に進化している

ミニ企画展期間：2月19日(日)まで  
 入場料：大人200円・子ども100円  
 (未就学児無料)

休館日：月曜日、12月30日～1月3日  
 臨時休館：1月10日～13日(館内メンテナンス)  
 開館時間：午前9時～午後5時(入館は4時まで)

### ■問い合わせ

ふれあいの丘自然観察館 TEL (28) 3 1 3 1  
<http://www.fureaino-oka.com/shizen/>